

## 業務実績評価に対する評価委員の追加意見

### 1 特筆すべき点や改善すべき点、法人の自己評価に対する意見

事業番号	意見欄
3	<p>相当のエネルギー投入により成果を持続しているので「着実」とする。</p> <p>「着実」            高校訪問64校、進学説明会49会場、出張講義28校に加え、オープンキャンパス、高大連携“SUMMER COLLEGE”、「入学前学習支援プログラム」等を開催し、優秀な学生・目的意識を持った学生の確保に継続的に取り組んでいる。</p>
5	<p>学位授与方針の策定は、文科省の指導等があり、今や、当然のことでもあるので、【顕著】の評価としない。《課題》の記述の前に、語句を挿入し下記のようにする。</p> <p>《課題》            学位授与方針の策定により、熊本県立大学で育成する能力、養成する人材像を明確化したことは評価できるが、学位授与方針に基づくカリキュラムの検証は行われなかった。            また、国際的意識の醸成に資する新たな教育プログラムの検討も不十分な状態であるため、これらの点について改善が求められる。</p>
6	<p>「着実」を付加する。</p> <p>「着実」            キャリアデザイン科目の開講、「学生GP制度」の実施、情報誌「STEP」の発行、セミナーの開催、キャリアフォリオの活用促進などキャリアデザイン教育システムを構築しつつある。</p>
8	<p>（新規）を改め、《課題》とする。</p> <p>《課題》            平成22年度から、文学部英語英米文学科1・2年生全員の受験を義務付けるなど、英語コミュニケーション能力の一層のレベルアップに向けた取組を継続していること、意欲的に高い目標を設定したことは評価できるが、TOEIC®スコア800点以上を目指すとした中期計画に照らすと十分な成果が得られていない。</p>

20	<p>「着実」を加える。</p> <p>「着実」 熊本地域の多様な環境資源をフィールドワーク、アセスメント実習等に活用するとともに、関連する研究機関、施設等における臨地実習等を積極的に実施している。</p>
46	前出5に同じ。
154	【顕著】としてあるが、「着実」でよいのではないか。
175	<p>自己評価Aであるが、委員会評価をBとし、「着実」を《課題》に変更する。</p> <p>《課題》 学生の定期健康診断について、オリエンテーションでの指導、学内掲示での周知、授業担当者への協力依頼を行う等、定期健康診断の全員受診に向けた取組を実施した結果、受診率は昨年度の78.5%から84.8%に改善したものの全員受診（100%）に至らなかった。</p>

## 2 その他

<p>事業番号6 学生GP制度は、「地域実学主義」に沿ったものであり、興味深く、もっと詳しく状況をお尋ねしたかった。</p>
--